

総会も無事終了し、皆さんのお手元には総会資料やアメニティ・レポートが届いていることと思います。今年は梅雨いりりが早かったですね。夏の訪れも早いのでしょうか。六甲山荘の持ち味が十分味わえることでしょうか。

お知らせ

- ・ヴォーリズ六甲山荘 石窯ピザの日 6月18日(土)
- ・ヴォーリズ六甲山荘 石窯ピザの日 7月17日(日)
- ・東日本大震災被災者支援コンサート 7月23日(土) 神戸栄光教会

今こそ私たちがお返しする時です～大震災被災者支援のために 東日本大震災被災者支援コンサート

今年のアンサンブル・アメニティのコンサートは東日本大震災被災者支援をテーマに開催します。会場の神戸栄光教会は阪神淡路大震災で倒壊、再建された建物です。災害にくじけない神戸の象徴でもあります。阪神間に避難しておられる被災者をお招きし、収益は今後の被災者支援の活動にあてられます。すでに皆さんのお手元にはチラシやチケットをお届けしておりますが、どうぞお知り合いをお誘いくださって、客席をいっぱいにしましょう。

日時：2011年7月23日(土)午後2時

出演：アンサンブル・アメニティ

場所：神戸栄光教会

* 7月のコンサートでもそうですが、わたしたちの支援は主として阪神間に避難してこられた被災者を対象として、コンサートやその他のイベントにご招待したいと計画しています。皆さんの周辺にそういう被災者がおられましたら、ぜひ事務局までお知らせください。

ご報告1 チャリティ・オープンガーデン 5月10日(火) 宝塚市雲雀丘・正司邸

小雨が降ったりやんだりの天気でしたが、午前午後とあわせて約400名の来場者がありました。正司さんが自ら丹精されたお庭と国有形登録文化財である建物を楽しむひと時でした。私たちは受付・お茶とクッキー・葉書販売を担当しました。短時間に大勢のお客様が来られるのでスタッフは大わらわで対応に追われました。今回の収益をアメニティ2000協会に寄付いただきました。ありがとうございました。



ご報告2 通常総会 5月28日(土) 草志舎

総会出席者29名、委任状144名で定足数147名をクリアして総会は成立しました。議案はすべて原案どおり承認され、これで2011年度の活動が本格的に開始されます。今年度は特に東日本大震災の被災者への支援活動が大きな焦点となることも認められました。総会後は持ち寄りの料理で会員交流会となり、食べたり飲んだり喋ったりと賑やかで楽しいひと時でした。

ご報告3 アメニティ・レポート制作および総会準備

今年のアメニティ・レポート制作は丁あい、製本と順調にすすみ、予定刷数がほぼ完成しました。おかげで総会準備もはかどって、余裕をもって作業を終えることができました。スタッフの皆さん、お疲れ様でした。



乱丁をひたすらチェック

見る 思う



清水 彬久

アメニティ2000協会理事長

歴史的建築保護に理解を

変貌してきています。私の所属する団体の活動から考えていることを、つつつてみたいと思います。

私たちは2003年から3年にわたり、全国に誇れる阪神間の洋館を中心に、戦前からの建築がどうなっているかを調査しました。その結果、危機的状況が浮き彫りになったのです。対象は600件近くあり

「物納された神戸市東灘区の旧乾邸を公開して保存を訴える」という活動方針を決定したのです。

山荘は、当協会が購入し「ヴォーリス六甲山荘」という名称で、保存・公開することができました。国のラスト運動によって守る「かないました。これを真腹に近年、文の邸宅として有名な小寺邸（神戸市東灘区）が解体されてしましました。これを代表するヴォーリス建築体の役割は決して小さくないといえます。私たちの活動は、目の前の問題に真摯に取り組みることによって、環境保護の大切さを、多くの国民と共有していくことが目標です。

山荘は、当協会が購入し「ヴォーリス六甲山荘」という名称で、保存・公開することができました。国のラスト運動によって守る「かないました。これを真腹に近年、文の邸宅として有名な小寺邸（神戸市東灘区）が解体されてしましました。これを代表するヴォーリス建築体の役割は決して小さくないといえます。私たちの活動は、目の前の問題に真摯に取り組みることによって、環境保護の大切さを、多くの国民と共有していくことが目標です。

山荘は、当協会が購入し「ヴォーリス六甲山荘」という名称で、保存・公開することができました。国のラスト運動によって守る「かないました。これを真腹に近年、文の邸宅として有名な小寺邸（神戸市東灘区）が解体されてしましました。これを代表するヴォーリス建築体の役割は決して小さくないといえます。私たちの活動は、目の前の問題に真摯に取り組みることによって、環境保護の大切さを、多くの国民と共有していくことが目標です。

ご報告4 コウノトリの郷との交流 6月4日(土) 豊岡市

梅雨の晴れ間に、豊岡市のコウノトリ育む農法の試験圃場でもち米の田植えをしました。たんぼの泥はトロトロで、長靴だと足をとられます。裸足で泥の感触を楽しみながら、まわりを泳いでいるいろいろな小さな生き物と一緒に緑あざやかなイネの苗を植えました。後で見ると苗は曲線に並んでいました。秋の収穫が楽しみです。お昼ごはんには暇さんの奥さまがスクモ釜(もみがらを燃料にする釜)で炊いてくださったコウノトリのお米をおにぎりにして、持ち寄りのおかげで満腹しました。午後はコウノトリの郷公園でガイドを受けながら元気なコウノトリの姿を堪能しました。



おしゃべりアラカルト

建物の保存を考える in TOKYO

幸田 明子

4月9日 桜は満開、でもあいにくの小雨模様。駒場東大前駅に23名が集合。東日本大震災の影響で節電が励行され、電車の間引き、薄暗い駅構内、エスカレーターの使用中止など、関西からいらした方は驚かれたでしょう。まずは東大内のレストランで昼食後、後発隊と合流。構内を横切り旧前田邸へ。

小路を抜けるとテラス付きの二階建て洋館が正面に。その手前に広がる広い庭、それを囲むように植えられた桜、折からの風に舞う花吹雪に迎えられての訪問。関東大震災後、本郷の前田家の土地と東京大学の駒場の土地が交換され、この地にイギリス・チューダー様式を基本とした鉄筋コンクリート造の洋館が建てられたという。設計者は、上高地帝国ホテルや神宮外苑・絵画館を手がけた高橋 禎太郎氏。中庭を囲んで口の字に建築され、主に南側は家族の居室、北側は使用人となっている。広い玄関、彫りのある柱や階段、シャンデリア、食器戸棚などに、意匠をこらした職人技が見て

取れる。隣の和館は、主に外国人貴賓の接待に使われていたという。茶室は現在も貸し出されている。

そこから徒歩5分。開館75周年という民藝館へ。記念の「名品展」は、柳 宗悦氏が「美」を見出した「身近な器や生活道具」が、氏の感性と計算によって陳列されている。手仕事に携わった人たちの長いゆったりとした時間に思いを重ねながら、心温まる時間を過ごすことが出来た。柳夫妻の住いである西館は、長屋門が玄関に。夫人で声楽家の柳 兼子氏の音楽室、息子さん達の生活の跡の残った部屋、書斎などを一巡り。写真には、民藝館に飾られていた大皿などが日々の食事に使われていた様子が残されている。成るほど、器は使ってこそ。

駒場の緑深い中、静かな散策を楽しんだ一日でした。



お薦めの本

五日市 剛著 ツキを呼ぶ「魔法の言葉」

植松 雅代

25年以上前に始めたヨーガは週1回続けています。先日ヨーガ学会の講演会に参加し、著者のお話を聞く機会がありましたが、あらためて本も読ませていただきました。この本は著者が学生時代にイスラエルの旅行に出かけ、そこで出会ったひとりのおばあさんとの物語です。ノンフィクションではなく体験談を講演しそれがまとめられた本です。

著者は優秀な学生でしたが、人付き合いがへたで留学も鼻にかける少し生意気な青年でした。湾岸戦争の起こった冬、あることがきっかけでひとり旅に出かけました。しかし、イスラエルに到着早々財布を落としてしまい悲惨な旅がはじまりました。

リュックを背負い、日本から来たひとりぼっちの青年。安宿をてんでんとしながら旅を続けていました。ところが、イスラエルでも久しぶりの寒波で雪が降ったある日どこのホテルも「本日休み」で泊まる場所が見つからない。途方にくれ、すっかり疲れきってしまった著者は見知らぬ国に来た事をくやみ、寒さと不安と情けなさで道端にしゃがみこんでしまいました。そのとき「大丈夫ですか、顔色が悪いですよ」と声をかけてきたマント姿のイスラエルのおばあさんとの出会いは、その後、著者の人生を大きく変えました。おばあさんが教えてくれたツキを呼び込む魔法の言葉は、「ありがとう」「感謝します」の二つのことばでした。誰でも知っているし使っている言葉です。そして、おばあさんは「本当の使い方がある、使い方が大事なのよ」と。

この本に出会った一流のアスリートや著名人も多くの体験をして、ツキを呼ぶ魔法の言葉のすばらしさを実感しています。皆様も魔法の言葉を使ってみませんか。(マキノ出版刊) <次回は中元礼子さんをお願いします>

私たちの手でヴォーリス六甲山荘を育てましょう!

ヴォーリス六甲山荘募金報告(目標金額 2000 万円)

4月の募金状況 20,000円<累計9,076,248円(627名から1,601口)>
会員 20,000円(3名から4口)<累計4,825,970円(446名から957口)>
一般 0円 <累計3,333,745円(199名から663口)>
一般団体 0円 <累計81,000円(5団体から16口)>
その他 0円 <累計835,533円>

振込口座・郵便局 00950-5-36168 アメニティ 2000 協会



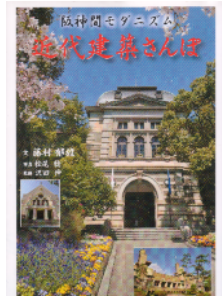
コウノトリ郷公園にて

ヴォーリス六甲山荘が新刊本に掲載されています

神戸新聞から出版された「近代建築さんぽ」にヴォーリス六甲山荘が紹介されています。この本は副題に「阪神間モダニズム」とあり、阪神間の近代建築作品を紹介しています。そのなかで六甲山荘は4ページを使って大きく取り上げられています。

それぞれの建物についてアクセス、マップもついているので、建物探訪のお供によさそうです。一度本屋で手にとってご覧ください。

「阪神間モダニズム 近代建築さんぽ」 神戸新聞総合出版センター A5版 1,600円



六甲山荘見学者からのお礼のメール

近江八幡で八幡郵便局(ヴォーリス設計)の保存活動を展開している「一粒の会」の一行18名が6月4日(土)ヴォーリス六甲山荘を訪問されました。そのお礼のメールを以下に掲載します。「一粒の会」はヴォーリス建築文化全国ネットワークの幹事団体であり、アメニティ 2000 協会もお世話になっています。

一粒の会です。

先日は、ほんとうにありがとうございました。参加者の中には、ヴォーリス建築では見たことがなかった新しい発見もでき、とても良かった。とか、今まで見てきたヴォーリス建築とは少し違った感じがあり、興味深く見させていただきました。また、ある建築をされてる女性の方は、子育てが落ち着き、建築設計の仕事を再スタートしようとしているいい時期にこのようないい建物をじっくり見学でき、改めて建築をすることの喜びなどを感じることができ良かった。など、参加者のみなさんに喜んでいただきました。また社債形式での資金集めのことなどのお話もお聞かせいただけたことそれに会員になれば宿泊できること、現在でも暖炉に火が入られることなど興味深く聞かれました。

みなさまの丁寧なご案内、またおいしいケーキと喫茶のご提供ほんとにありがとうございました。

お天気にも恵まれ、ほんとにいい一日となりました。ありがとうございました。皆様にもよろしくお伝えください。また、今後ともよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。